農林金融2010年２月号

リバース・モーゲージと総合農協

(田中久義)

リバース・モーゲージ(RM)の提供者や商品内容が多様化し、取組みが積極化している。その背景には金融構造や重点分野の変化、特に戦略分野である個人金融での資産担保金融への関心の高まりがみられる。

RMの取扱いには、預貯金や貸出業務、不動産の仲介・管理機能、保険・保証業務などのさまざまな機能が必要である。また、利用者ニーズの個別性が高いため、これらの機能を柔軟かつ効率的に組み合わせる能力がなければ、商品としてまとめ上げることが難しいという特性をもつ。

人的な結合を基礎とする農協は、その総合事業性を活用することにより、RMを低コストで提供でき、連合組織を含めた諸機能の組み合わせによる取組みの強化が望まれる。

地域銀行における格付取得の状況について

(矢島　格)

格付は、銀行の経営内容を外部から預金者や株主などが判断できるわかりやすい指標と考えられており、銀行にとって、情報開示の代表的な媒体・手段となっている。

しかし、現状では、格付取得の状況(格付取得の有無および格付取得数)が銀行ごとに異なっている。この背景を分析するため、銀行のどういう属性が格付取得に対するインセンティブに影響を与えているかについて、地域銀行108行を対象にして検証した。

検証の結果、調達の必要がある金額が大きく(総資産額が大きく)、財務状態が良好な(自己資本比率が高く、資産収益率が高い)地域銀行ほど、格付取得を積極化させるインセンティブが強いことが示された。

農林金融2010年３月号

ロシア・ウクライナの農業・食料

(清水徹朗)

ロシア革命後、ソ連は農業の社会主義化を進めたが、1980年代から改革が行われ、91年のソ連崩壊後に市場経済が本格的に導入された。集団農場が改組して生まれた農業企業は、穀物、油糧種子では大きなシェアを有しており、集団農場から独立した農民経営は近年シェアを増加させている。一方で、小規模な個人副業経営が農業生産額の５割を占めている。畜産の縮小によって飼料需要が減少し、穀物生産が回復するとロシアは穀物の輸入国から輸出国に転じており、今後、輸出量増大の可能性がある。ロシア、ウクライナの動向は日本にとっても重要であり、日本は北東アジアの安定という観点からロシアとの関係を再構築する必要がある。

中国・インドの穀物需給動向

(阮　蔚)

世界人口の約４割を占める中国とインドは80年代を境にして、穀物自給を達成し、90年代半ばには穀物輸出国に転じた。背景には緑の革命による穀物の飛躍的な増産とともに食管制度の矛盾によって生じた在庫解消があった。

07年からの世界的な穀物高騰に際し、中印は低所得者層への穀物供給を安定させるため、輸出を規制した。世界の穀物貿易の規模に比して中印の需要は巨大なため、両国の対応は国際穀物市場の混乱を招いた。中印は「穀物価格の引上げを求める小農」と「安価な穀物を必要とする貧困・低所得者」という対立に配慮せざるを得ず、政策運営のレンジが狭く、安定的な穀物輸出国にはなれない。特に主食となる穀物の貿易は今後も過不足の調整にとどまる。

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。

農林金融2010年２月号

米国の退職貯蓄の変容と日本への示唆

(鈴木　博)

米国の家計では、退職後の生活に備えた貯蓄が保有する金融資産の中心を占め、なかでも、確定給付年金や確定拠出年金等の企業年金や、個人が設営するIRA(個人退職勘定)のシェアが大きい。

退職貯蓄の充実には、74年制定のエリサ法による制度整備や税制上の優遇措置をともなった種々の退職貯蓄商品の開発、ベビーブーム世代が退職後の生活に対する問題意識を高めたこと、株価上昇などの運用資産の価値増加効果等があった。

2000年代以降、グローバル競争の激化などから、一部大企業の確定給付年金の運営が行き詰まり、年金債務を保証するPBGC(年金給付保証公社)の財政悪化や、確定給付年金から確定拠出年金へのシフトなどの変化がみられる。米国の退職貯蓄の変容は、日本の今後を考えるうえで参考になろう。

その他の研究成果

農林金融2010年３月号

(外国事情)

・中国黄土高原に見る退耕還林政策

（理事研究員　石田信隆）

はじめに

１　退耕還林政策の概要

(1) 中国における土壌流失問題

(2) 退耕還林政策の概要

(3) 事業実施状況と成果

２　陝西省の現地に見る退耕還林政策

(1) 永寿県の概況

(2) 退耕還林政策の実施状況

(3) 効果と課題

３　退耕還林政策の意義とわが国への示唆

金融市場

2010年２月号

情勢判断

１　緩やかな景気持ち直しとデフレの共存
　～輸出や耐久財消費が牽引～

２　景気浮揚へオバマ政権の着実な対応が大切

今月の焦点

１　いわき信用組合の消費者ローン戦略

２　ユーロ圏の企業向け貸出の動向

３　新興国市場の拡大

連載

１　内部統制のいま＜第10回＞

２　経済統計の基礎知識＜第10回＞

2010年３月号

情勢判断

１　二番底リスクは後退したが、デフレ脱却は見通せず
　～アジア向け輸出が牽引するわが国経済～

２　依然まだら模様だが、米景気の持ち直しは確か

経済見通し

2009～2011年度改訂経済見通し

今月の焦点

１　常陽銀行の個人顧客メイン化への取り組み

２　非伝統的金融政策と中央銀行バランスシート

３　ギリシャ財政問題の動向

連載

１　内部統制のいま＜第11回＞

２　経済統計の基礎知識＜第11回＞

ここに掲載されているあらゆる内容の無断転載・複製を禁じます。